

(1) 家庭における教育

①子どもに対する理解

(22) あなたは、お子さんについて、次にあげることをどの程度知っていますか。

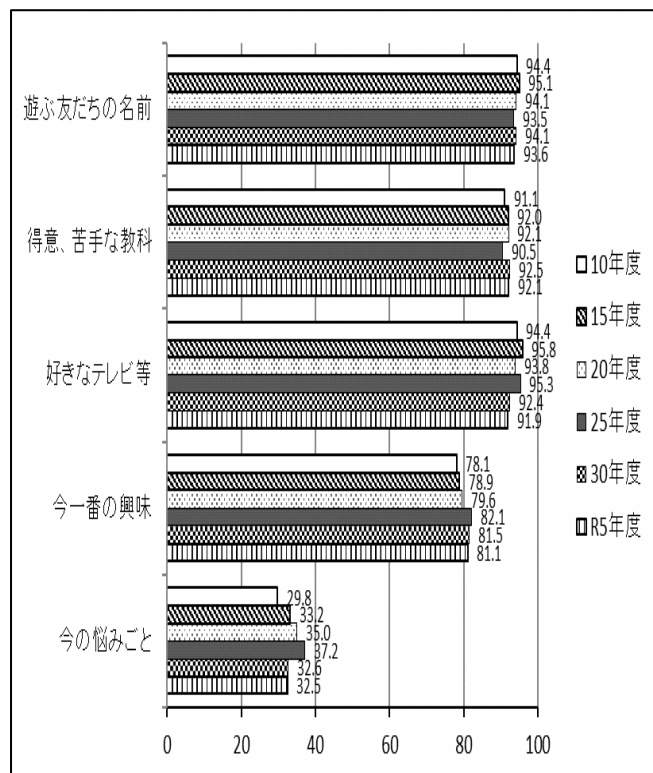
(それぞれ1つずつ選択)

- A よく遊ぶ友だちの名前
- B 得意な教科、苦手な教科
- C 好きなテレビ番組や音楽

- D 今一番興味を持っていること
- E 今悩んでいること

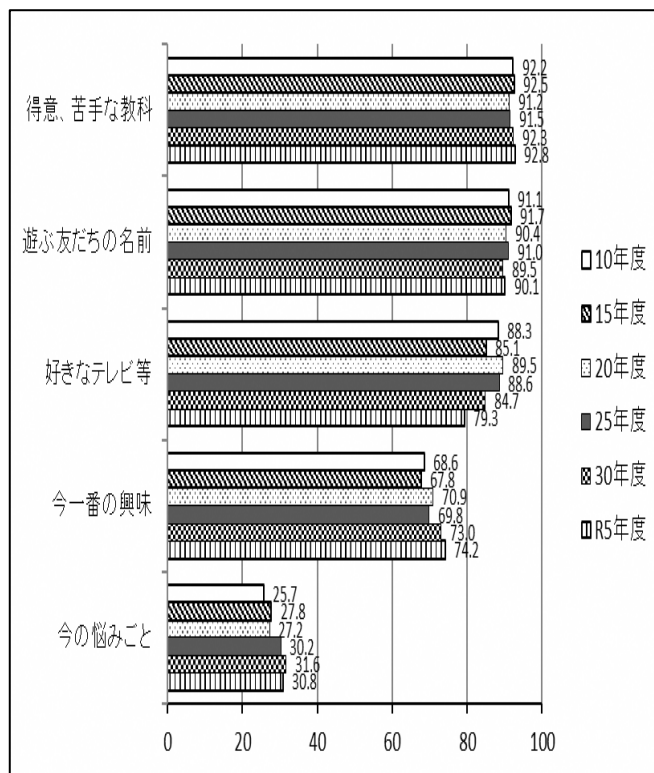
(22) お子さんについて知っているか（小学生保護者）

〈よく知っている+知っている〉



(22) お子さんについて知っているか（中学生保護者）

〈よく知っている+知っている〉



＜令和5年度の結果＞

「よく遊ぶ友だちの名前」は、小学生、中学生の保護者ともに9割を超えている。^(*)しかし、子どもの内面に係る「今悩んでいること」については、小学生、中学生の保護者ともに、他の項目よりも低く、3割ほどである。

＜平成10年度から令和5年度を通しての変化＞

全ての項目について、中学生の保護者より、小学生の保護者のほうが、よく知っている割合が高い。中学生の保護者は「今一番の興味」を「よく知っている・知っている」と回答した割合は、増加傾向にある。

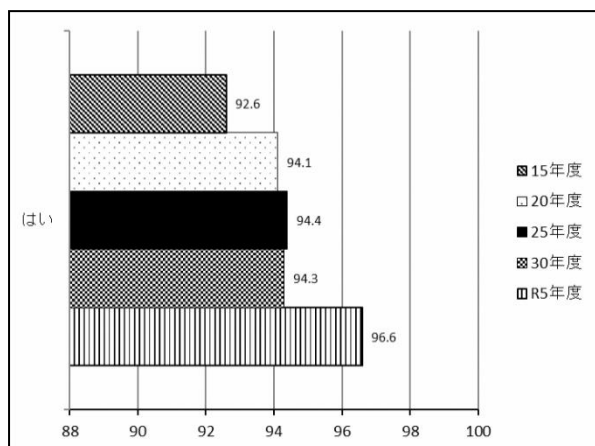
②子どもとの会話の内容

(28) あなたは、ふだんお子さんとよく話しますか。

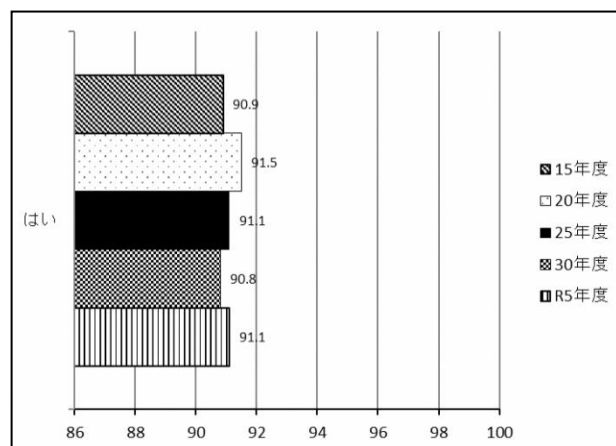
1. はい

2. いいえ

(28) お子さんとよく話すか（小学生）



(28) お子さんとよく話すか（中学生）



※平成10年度は、設問の仕方が違うため除く

(29) どんな話をすることが多いですか（3つまで）

1. 学校のこと

2. 友だちのこと

3. 家族のこと

4. テレビ番組のこと

5. 趣味や遊びやスポーツのこと

6. 世の中のできごとやニュースのこと

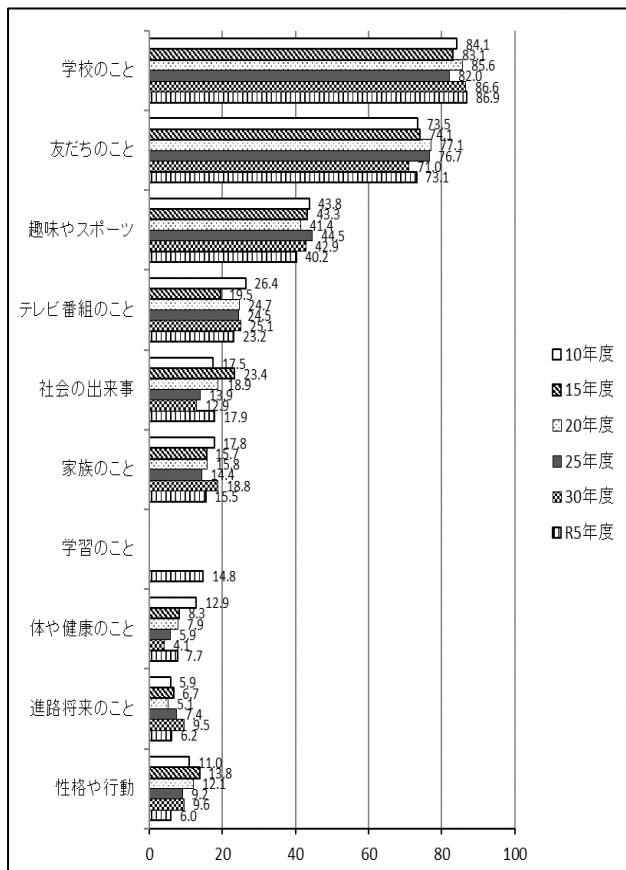
7. 体や健康のこと

8. 性格や行動のこと

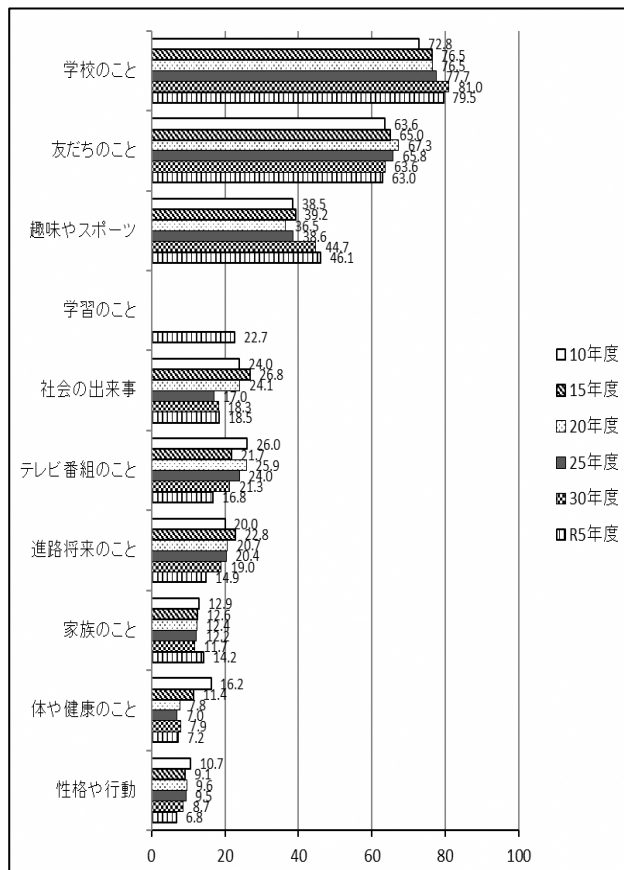
9. 進路、将来のこと

10. 学習のこと（令和5年度より追加）

(29) どんな話をするか（小学生保護者）



(29) どんな話をするか（中学生保護者）



＜令和5年度の結果＞

「お子さんとよく話しますか」の設問に「はい」と回答している割合は、小学生の保護者の方が、中学生の保護者よりも高い。^(*)

子どもとの会話の内容は、小学生、中学生の保護者ともに、「学校のこと」や「友だちのこと」が6～8割であり、「家族のこと」「世の中のできごとやニュースのこと」「性格や行動のこと」「進路、将来のこと」「体や健康のこと」は2割以下である。

「進路、将来のこと」については、中学生の保護者の方が高い割合である。^(*)

＜平成10年度から令和5年度を通しての変化＞

これまでの調査において、小学生、中学生の保護者ともに、「お子さんと話しますか」の設問に「はい」と回答した割合は、いずれも9割を超えている。小学生の保護者では「体や健康のこと」、中学生の保護者では「趣味やスポーツのこと」が平成30年度の調査より、増加傾向である。また中学生の保護者では、「進路、将来のこと」についての回答が減少傾向である。



③しつけの様子

(27) あなたは日頃、お子さんに次のようなことについて気をつけていますか。

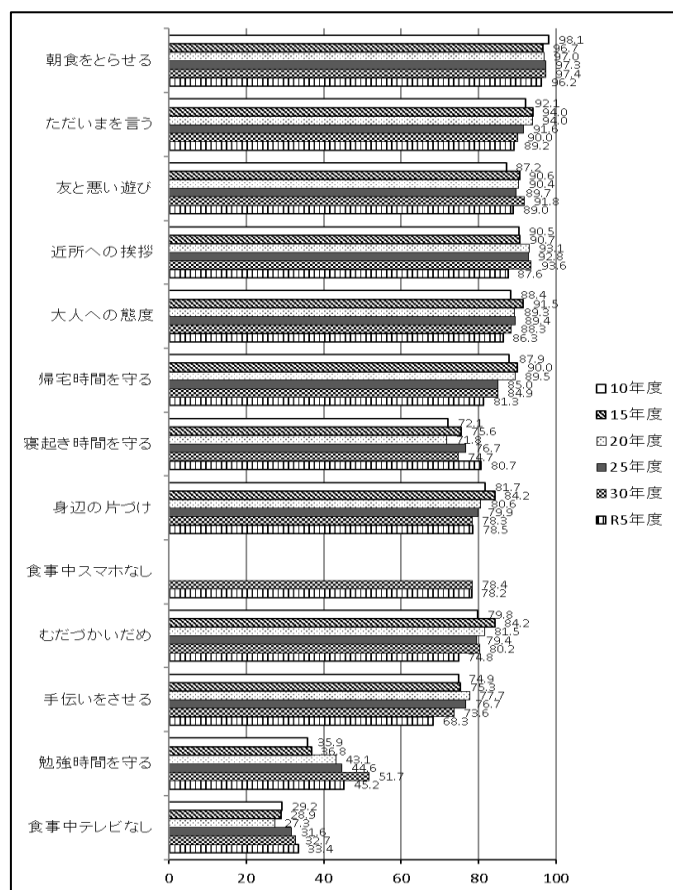
(必ず(よく)そうしている、ある程度(まあ)そうしている、どちらともいえない、ほとんどそうしていない、まったくそうしていないから選択)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 毎日朝食をとらせる | 8. 起床、就寝時間を守らせる |
| 2. 食事中にテレビを見させない | 9. 「行ってきます」「ただいま」を言わせる |
| 3. 食事中にスマートフォンを見させない | 10. 身の回りの片付けをさせる |
| 4. 手伝いをさせる | 11. むだづかいをさせない |
| 5. 近所の人へのあいさつをさせる | 12. 友達と悪い遊びをさせない |
| 6. 勉強時間を守らせる | 13. 大人に対する口のきき方や態度をしつける |
| 7. 帰宅時間(門限)を守らせる | |

※3は令和5年度より追加

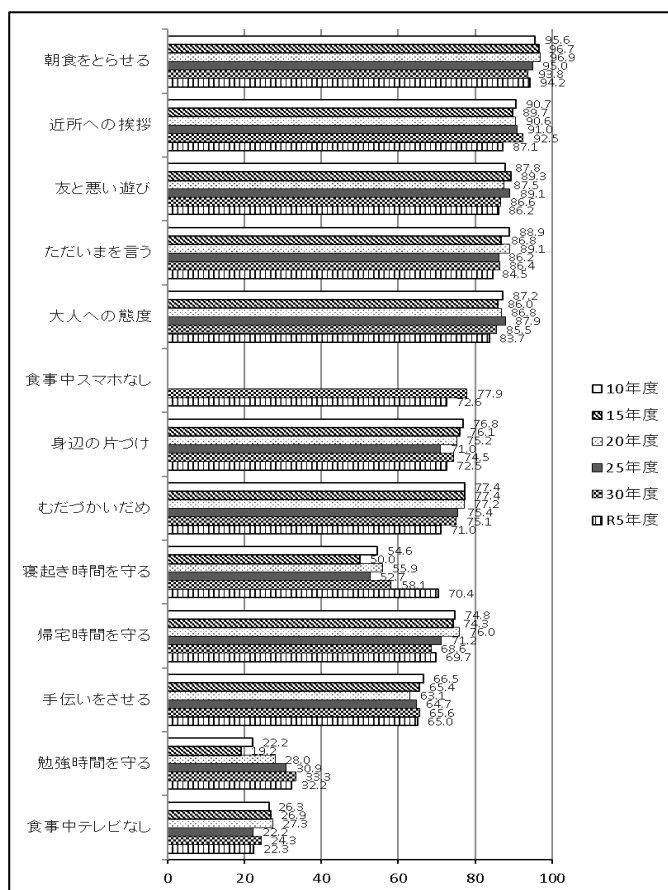
(27) 次のことに気をつけているか(小学生保護者)

〈必ずそうする+ある程度そうする〉



(27) 次のことに気をつけているか(中学生保護者)

〈必ずそうする+ある程度そうする〉



＜令和5年度の結果＞

日頃、保護者が気をつけていることで「必ずそうしている」「ある程度そうしている」を合わせると、「毎日朝食をとらせる」は、小学生、中学生の保護者ともに9割を超えている。(*) 小学生の保護者は「勉強時間を守らせる」が4割半ばで「食事中にテレビを見させない」が3割であるが、中学生の保護者は2割～3割程度である。

＜平成10年度から令和5年度を通しての変化＞

小学生、中学生の保護者ともに「近所の人への挨拶」は減少傾向にある。(*)

④休日の過ごし方

(15) あなたのお子さんは、休日をどのように過ごすことが多いですか。(3つまで)

- | | |
|---------------|--------------------------|
| 1. 親子で過ごす | 6. 友達と遠くへでかける |
| 2. 家の手伝いをする | 7. 部活動をする |
| 3. 家でのおんびり過ごす | 8. 子ども会など団体活動に参加する |
| 4. 家で勉強する | 9. 学習塾・おけいこ・スポーツクラブなどへ行く |
| 5. 友達と近くで遊ぶ | |

※平成10年度は、土曜日が月2回休みの時代であり、「土・日曜日の過ごし方」として回答を求めた。

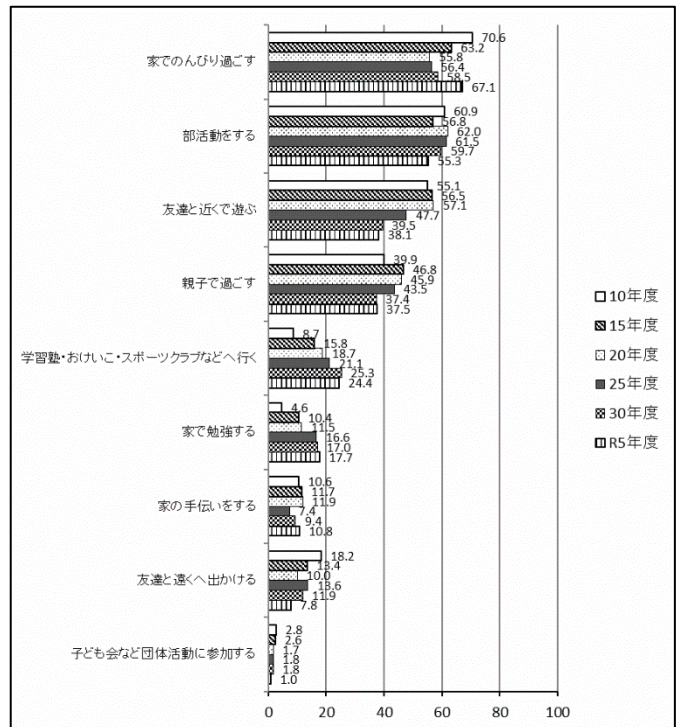
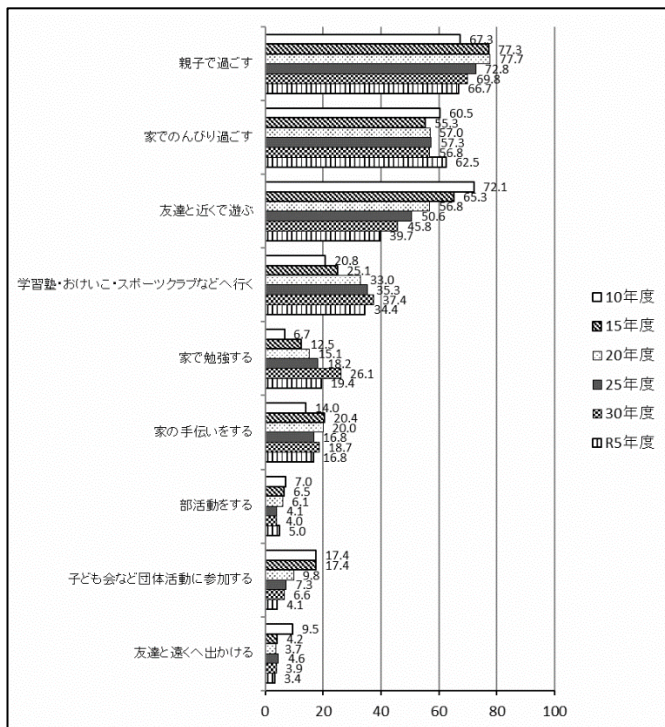
※平成15年度以降は、「土曜日の過ごし方」と「日曜日の過ごし方」に分けて回答を求めた。

※令和5年度からは、土曜日・日曜日と分けず、「休日」として回答を求めた。

※平成30年度よりも以前のデータに関しては、土曜日、日曜日、両日とも選択している場合はそのまま、いずれか片方を選択している場合は、選択したものを比例配分しつつ、選択肢が3つになるように調整を行った上で割合を出している。(全学年で同様の調整を実施)

(15) 休日の過ごし方(小学生保護者)

(15) 休日の過ごし方(中学生保護者)



＜令和5年度の結果＞

小学生の保護者では、「親子で過ごす」という回答が最も高いが、全6回の調査中最も低い値となった。中学生の保護者では「家でのおんびり過ごす」が最も高い。小学生、中学生の保護者ともに、「友達と近くで遊ぶ」「友達と遠くへ出かける」が過去で最も低い値となっている。

＜平成10年度から令和5年度を通しての変化＞

小学生、中学生の保護者ともに、「親子で過ごす」「友だちと近くで遊ぶ」が減少傾向にある。

(*)

また、中学生の保護者では、「家で勉強する」という回答が増加傾向にあり、令和5年度は過去最高の数値となった。

⑤進路に対する考え方

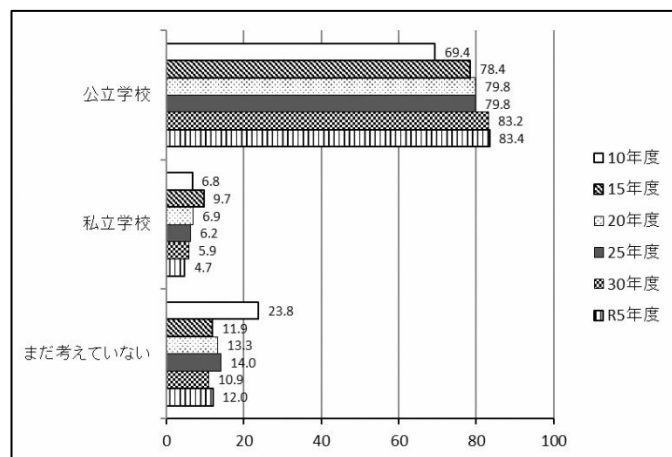
(23) あなたは、お子さんを公立・私立学校のどちらに進ませたいと思っていますか。

(小学生の保護者は中学校を、中学生の保護者は高校等の上級学校をイメージして回答)

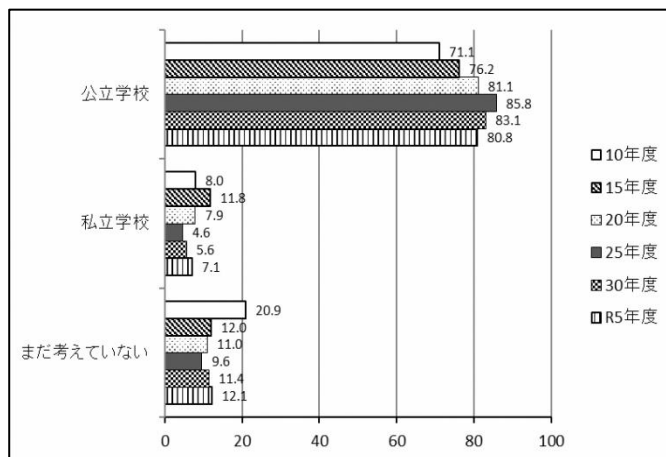
1. 公立学校 2. 私立学校 3. まだ考えていない

※「小学生の保護者は中学校を、中学生の保護者は高校等の上級学校をイメージして回答してください。」
は、平成15年度の調査から追加

(23) 進学校の希望（小学生保護者）



(23) 進学校の希望（中学生保護者）



<令和5年度の結果>

進路に対する考え方は、小学生、中学生の保護者ともに、「公立学校への進学を希望する」が8割を超えている。

<平成10年度から令和5年度を通しての変化>

進路に対する考え方は、小学生の保護者は「公立学校」は年々増加している。しかし、中学生の保護者は平成30年度から減少しており、「私立学校」が増加した。

⑥進学に対する考え方

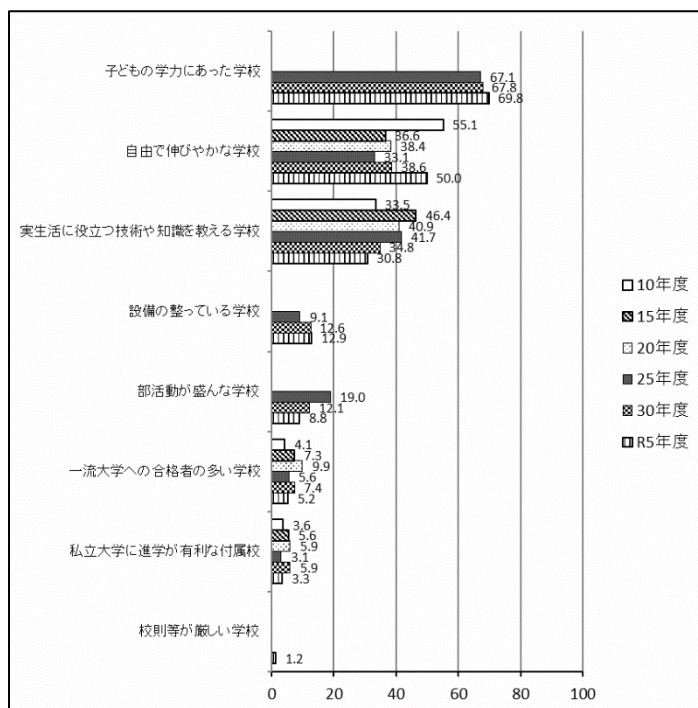
(24) あなたが、お子さんを高校へ進学させるとしたら、次の中でどのような学校に進ませたいと思いますか。(2つ選ぶ)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 生徒が自由にのびのびできる学校 | 5. 実生活に役立つ技術や知識を教える学校 |
| 2. 校則やしつけがきびしい学校 | 6. 設備が整っている学校 |
| 3. 一流大学への合格者の多い学校 | 7. 部活動が盛んな学校 |
| 4. 私立大学への進学に有利な付属学校 | 8. 子どもの学力にあった学校 |

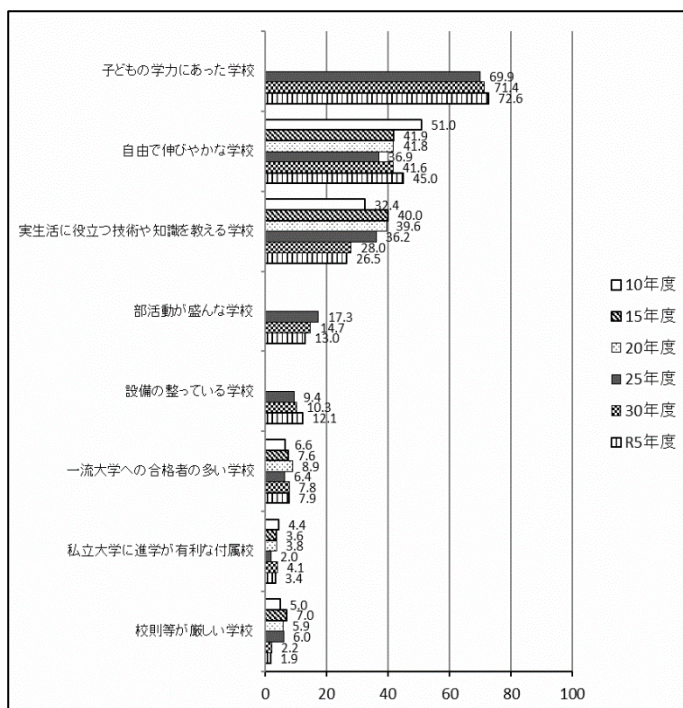
※平成10年度は、1～5の選択肢から1つ選ぶという設問

※平成25年度は、6. 7. 8. の選択肢を追加し、2つ選ぶように変更

(24) どのような学校に進ませたいか（小学生保護者）



(24) どのような学校に進ませたいか（中学生保護者）



<令和5年度の結果>

進学する高等学校に対する考え方は、「子どもの学力にあった学校」の割合が、小学生、中学生の保護者ともに7割前後である。ついで、「生徒が自由にのびのびできる学校」が多く、5割前後である。

<平成10年度から令和5年度を通しての変化>

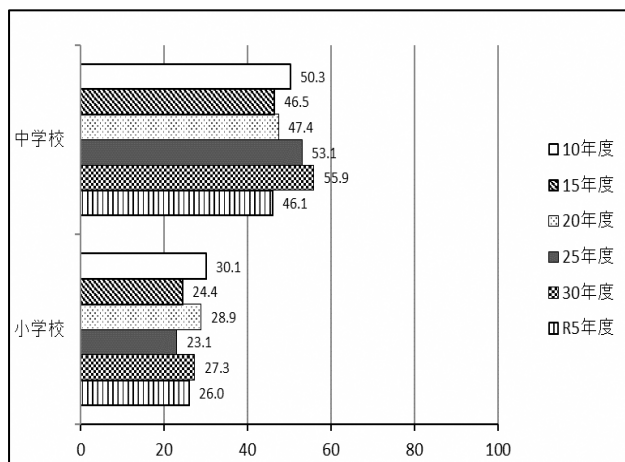
小学生、中学生の保護者ともに、「部活動が盛んな学校」が年々減少し、「子どもの学力にあった学校」が増加している。

⑦学習塾に対する考え方

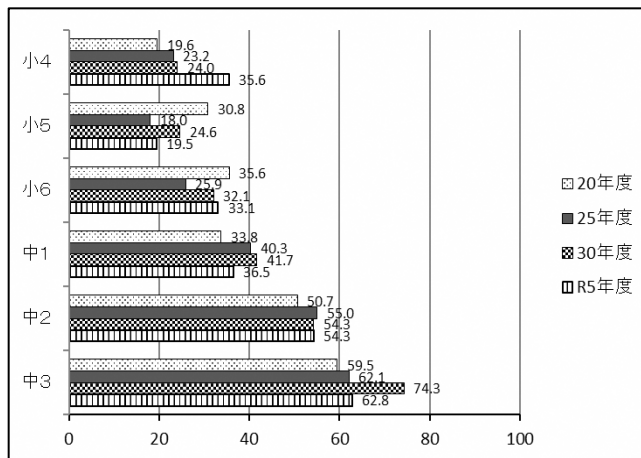
(32) あなたのお子さんは、学習塾に通っていますか。

1. 通っている 2. 通っていない

(32) 学習塾に通っている



参考（学年別グラフ）学習塾に通っている

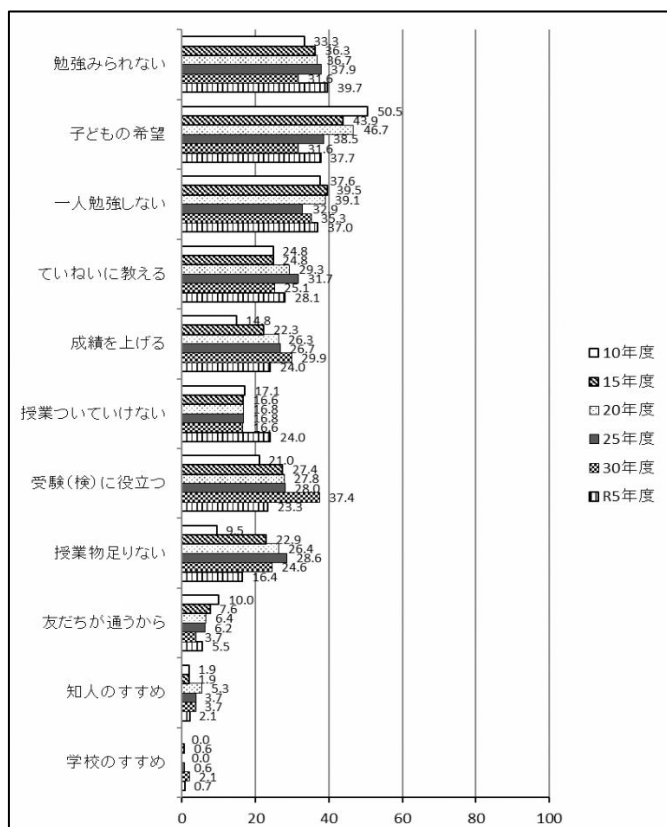


(33) あなたのお子さんを学習塾に通わせている理由は何ですか。（いくつでも）

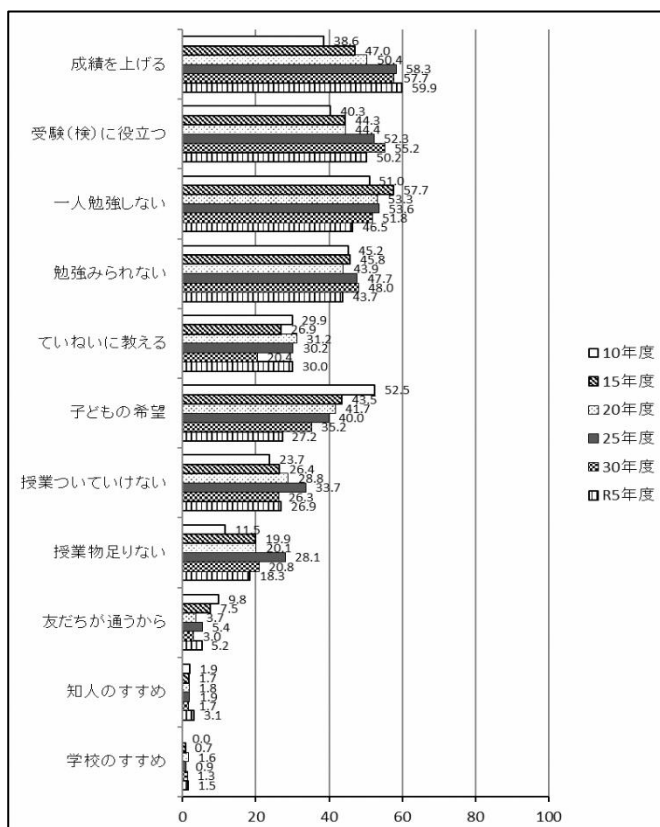
1. 学校の授業についていけないから
2. 学校の授業だけでは物足りないから
3. 一人では勉強しないから
4. 家庭で勉強をみてやれないから
5. ていねいに教えてくれるから
6. 受験（検）に役立つから
7. 子どもが希望するから
8. 子どもの友だちが通っているから
9. 学校の先生にすすめられたから
10. 知人にすすめられたから
11. 成績を上げるため

※令和5年度より「受験（検）に役立つから」に変更。（検定等が増加傾向にあるため。）

(33) 通塾の理由（小学生保護者）



(33) 通塾の理由（中学生保護者）



＜令和５年度の結果＞

「学習塾に通わせている」は、小学生の保護者で２割半ば、中学生の保護者で４割半ばである。^(*)

学習塾に通わせている理由としては、小学生の保護者では、「家庭で勉強をみてやれないから」が４割弱、次いで「子どもが希望するから」「一人では勉強しないから」が多い。

中学生の保護者では、「成績を上げるため」が６割弱、次に「受験（検）に役に立つ」「一人では勉強しないから」が多い。

＜平成１０年度から令和５年度を通しての変化＞

平成１５年度以降、「学習塾に通っている割合」について、中学生の保護者では年々増加していたが、令和５年度に減少した。

また、「成績を上げるため」が増加傾向にあり、「子どもが希望するから」が年々減少している。^(*)

「学習塾に通っている」の回答を見ると、小学生の保護者はほぼ横ばいだが、学年別に見ると小学校４年生の保護者の回答が大幅に増加している。小学生、中学生の保護者ともに、「学校の授業だけでは物足りないから」という回答は増加傾向にあったが、平成２５年度を境に減少に転じている。



⑧家庭教育で重視すること

(18) あなたは、お子さんの家庭教育で次のことをどの程度重視しますか。

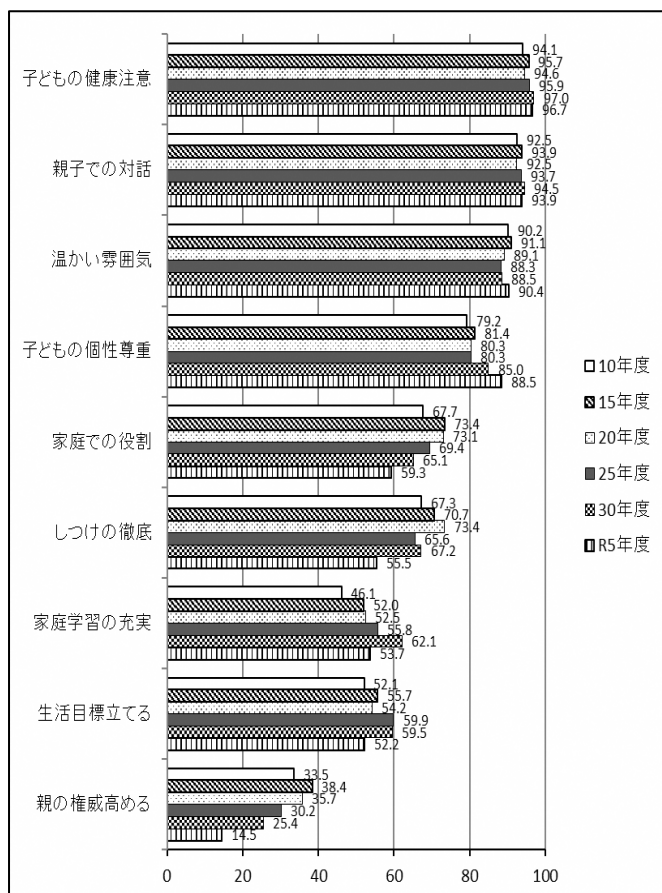
(とても重視する、重視する、どちらともいえない、重視しない、まったく重視しないから選択)

1. 子どもの個性を尊重すること
2. 子どもの健康に気を配ること
3. 家庭での役割を与えること
4. 家庭学習を充実させること
5. 生活目標を立てさせること
6. 親子で対話すること
7. 家庭の温かい雰囲気をつくること
8. しつづけを徹底すること
9. 親の権威を高めること

※グラフは、「とても重視する」と「重視する」を合わせたもの

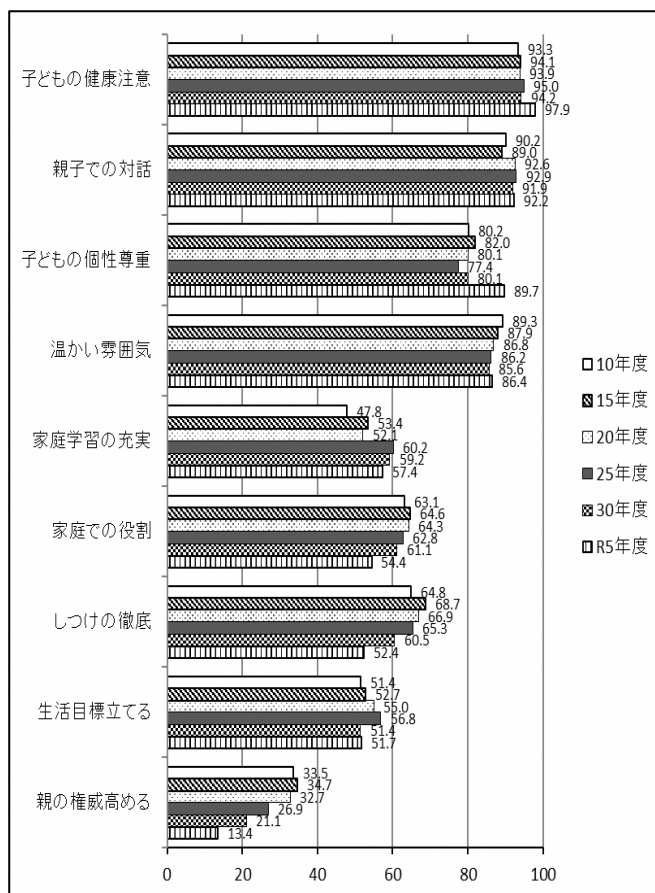
(18) 家庭教育で重視すること（小学生保護者）

〈とても重視する＋重視する〉



(18) 家庭教育で重視すること（中学生保護者）

〈とても重視する＋重視する〉



＜令和5年度の結果＞

家庭教育で重視することは、「とても重視する」「重視する」を合わせると、小学生、中学生の保護者ともに、「子どもの健康に気を配ること」「親子で対話をする」が9割を超える。

その他の質問項目は5割以上だが、「親の権威を高めること」については、小学生、中学生の保護者とも2割以下である。

＜平成10年度から令和5年度を通しての変化＞

家庭教育で重視することは、小学生、中学生の保護者ともに、「子どもの個性を尊重」が増加傾向にある。(*)